

【調査結果の概要】

1 概況（従業者4人以上）

平成22年の概況は次のとおりである。

事業所数は、6528事業所で、前年に比べ304事業所（前年比 4.4%）減少した。

従業者数は、19万2518人で、前年に比べ883人（同0.5%）増加した。

製造品出荷額等は、4兆8275億円で、前年に比べ2584億円（同5.7%）増加した。

付加価値額は、1兆7979億円で、前年に比べ1648億円（同10.1%）増加した。

従業者4人以上の製造事業所について集計、分析を行ったものである。

2 事業所数（従業者4人以上）

事業所数は6528事業所で、前年に比べ304事業所（前年比 4.4%）減少している。（表 - 1）

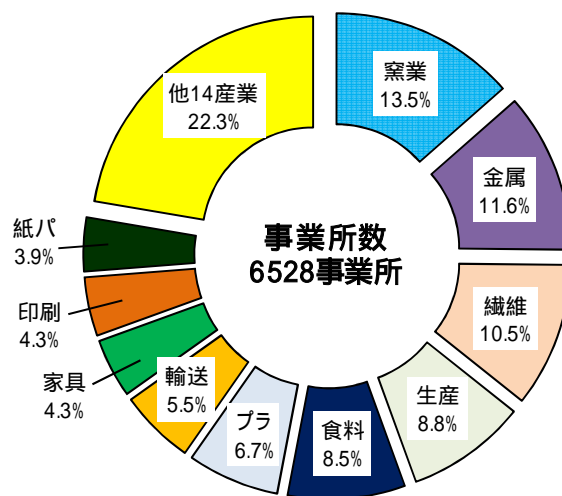
産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業（前年比1.4%）の1産業である。一方、減少したのは、窯業・土石製品製造業（同 7.6%）、繊維工業（同 6.3%）、金属製品工業（同 5.1%）など20産業である。（表 - 2）

従業者規模別にみると、4～9人事業所で大きく減少している。（表 - 3）

圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、東濃圏域（前年比 6.2%）、中濃圏域（同 4.8%）、岐阜圏域（同 4.2%）、飛騨圏域（同 4.0%）、西濃圏域（同 2.6%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、窯業・土石製品製造業が882事業所（構成比 13.5%）と最も多く、次いで金属製品製造業が760事業所（同 11.6%）、繊維工業が688事業所（同 10.5%）となっている。（表 - 2）

図 - 1 事業所数の構成（従業者4人以上）



3 従業者数（従業者4人以上）

従業者数は19万2518人で、前年に比べ883人（前年比0.5%）増加している。（表 - 1）

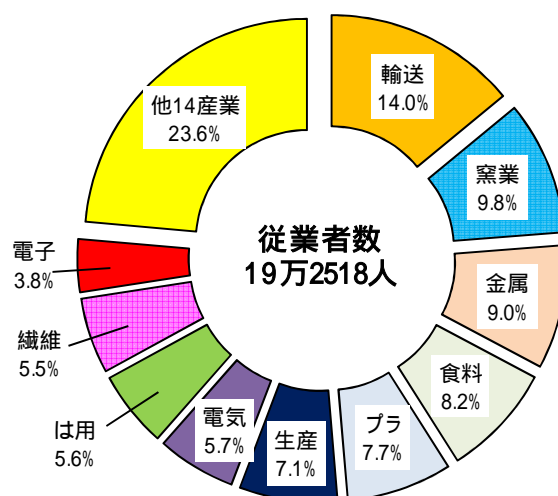
産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業（前年比4.0%）、はん用機械器具製造業（同7.2%）など12産業である。一方、減少したのは、情報通信機械器具製造業（同22.2%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同6.6%）など12産業である。（表 - 2）

従業者規模別にみると、300～499人事業所で大きく増加している。（表 - 3）

圏域別にみると、増加したのは、中濃圏域（前年比1.2%）、飛騨圏域（同0.9%）、西濃圏域（同0.4%）、東濃圏域（同0.1%）であった。一方、減少したのは、岐阜圏域（同0.1%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2万6990人（構成比14.0%）と最も多く、次いで窯業・土石製品製造業が1万8778人（同9.8%）、金属製品製造業が1万7340人（同9.0%）となっている。（表 - 2）

図 - 2 従業者数の構成（従業者4人以上）



4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

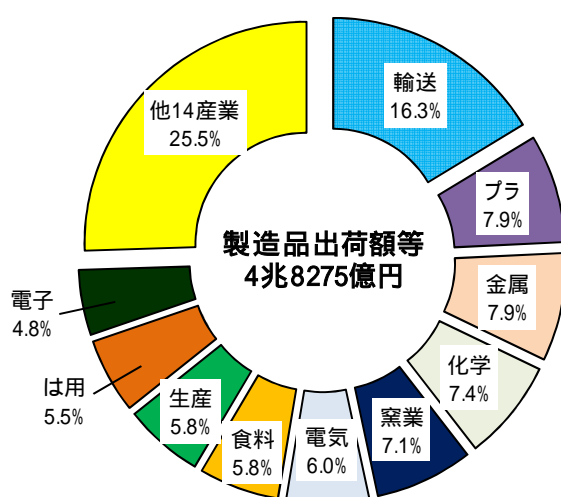
製造品出荷額等は4兆8275億円で、前年に比べ2584億円（前年比5.7%）増加している。（表-1）

産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業（前年比23.3%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同27.4%）、化学工業（同6.9%）など17産業である。一方、減少したのは、情報通信機械器具製造業（同31.2%）など7産業である。（表-2）

圏域別にみると、すべての圏域で増加しており、西濃圏域（前年比7.2%）、飛騨圏域（同6.4%）、東濃圏域（同5.2%）、中濃圏域（同5.1%）、岐阜圏域（同5.0%）であった。（表-4）

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が7884億円（構成比16.3%）と最も多く、次いでプラスチック製品製造業が3820億円（同7.9%）、金属製品製造業が3808億円（同7.9%）となっている。（表-2）

図-3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



5 付加価値額（従業者4人以上）

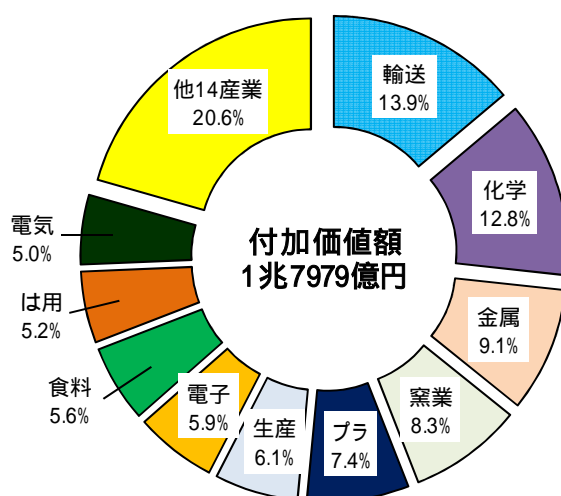
付加価値額（粗付加価値額での集計を含む）は1兆7979億円で、前年に比べ1648億円（前年比10.1%）増加している。（表-1）

産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業（前年比54.3%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同32.6%）、金属製品製造業（同13.9%）など14産業である。一方、減少したのは、情報通信機械器具製造業（同76.9%）など10産業である。（表-2）

圏域別にみると、増加したのは、西濃圏域（前年比17.1%）、岐阜圏域（同12.6%）、中濃圏域（同8.5%）、東濃圏域（同3.6%）であった。一方、減少したのは、飛騨圏域（同5.6%）であった。（表-4）

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2496億円（構成比13.9%）と最も多く、次いで化学工業が2307億円（同12.8%）、金属製品製造業が1631億円（同9.1%）となっている。（表-2）

図-4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



6 圏域別にみた産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

製造品出荷額等は1兆2771億円で、前年に比べ613億円（前年比5.0%）増加している。
産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が3502億円（構成比27.4%）と最も多く、次いで化学工業が2131億円（同16.7%）、食料品製造業が921億円（同7.2%）などとなっている。

【西濃圏域】

製造品出荷額等は1兆1621億円で、前年に比べ778億円（前年比7.2%）増加している。
産業別に構成をみると、電子部品・デバイス・電子回路製造業が1762億円（構成比15.2%）と最も多く、次いでプラスチック製品製造業が1590億円（同13.7%）、輸送用機械器具製造業が1097億円（同9.4%）などとなっている。

【中濃圏域】

製造品出荷額等は1兆3953億円で、前年に比べ678億円（前年比5.1%）増加している。
産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2565億円（構成比18.4%）と最も多く、次いで金属製品製造業が1718億円（同12.3%）、生産用機械器具製造業が1383億円（同9.9%）などとなっている。

【東濃圏域】

製造品出荷額等は7474億円で、前年に比べ368億円（前年比5.2%）増加している。
産業別に構成をみると、電気機械器具製造業が1523億円（構成比20.4%）と最も多く、次いで窯業・土石製品製造業が1442億円（同19.3%）、パルプ・紙・紙加工品製造業が663億円（同8.9%）などとなっている。

【飛騨圏域】

製造品出荷額等は2457億円で、前年に比べ148億円（前年比6.4%）増加している。
産業別に構成をみると、化学工業が578億円（構成比23.5%）と最も多く、次いで非鉄金属製造業が314億円（同12.8%）、家具・装備品製造業が288億円（同11.7%）などとなっている。

図 - 5 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

